

## ねぎ（虫害説明）

### ネギハモグリバエ

（生態）

- ① 成虫は2mmほどで胸部と腹部が黒く、その他の部分は淡黄色となる。
- ② 成虫は産卵管で葉の表面に小さな孔を縦に連続して開け、にじみ出る汁液を摂取する（吸汁痕）。
- ③ 幼虫は葉に潜りし葉肉部を食害し、白色で蛇行した線状の食害痕を残す。
- ④ 成熟した幼虫は葉から脱出し、土中で蛹になる。
- ⑤ 発育適温は20～25℃であり、春や秋に発生が多い。
- ⑥ 従来系統（別名:A系統）とは異なるB系統（別名:新系統）といわれる個体群が確認されている。  
B系統は従来系統に比べ1枚の葉にいる幼虫数が多く、食害程度が激しい傾向にある。
- ⑦ 従来系統とB系統で防除薬剤の効果差は確認されていない。

（防除）

- ① 発生して時間が経過すると薬剤の効果低下するため、初期防除を徹底する。
- ② 成育初期に加害されると生育不良や株の消失となるため、定植時に粒剤処理や灌注処理を行う。
- ③ 従来系統とB系統で防除薬剤の効果差は確認されていない。

### ネキリムシ類

（生態）

- ① カブラヤガやタマナヤガが主体である。
- ② 昼間は土壌中に潜み、夜間に地上に現れる。定植後間もない苗を地際部から切り倒す。  
ネギが生育し大きくなると被害は減少する。

（防除）

- ① 定植時期に粒剤処理を行う。

### ネダニ類

（生態）

- ① ロビンネダニとネダニモドキ属の発生が確認されている。
- ② 夏から秋にかけて発生が多い。
- ③ ネギの腐敗部分を好む。  
特に、萎凋病、軟腐病及び白絹病等の土壌病害は、ネギを腐敗させネダニ類の発生の原因となる。

（防除）

- ① 登録農薬が少ないため激発すると抑える手段が少ない。  
そのため、定植前の土壌消毒や育苗期あるいは定植時処理剤の施用を行う。
- ② 腐敗した残渣が圃場に残っていると次年度の発生源となるため、速やかに腐熟させる。
- ③ 萎凋病、軟腐病および白絹病等の土壌病害は、ネギを腐敗させネダニ類の発生の原因となるため、これらの病害の防除を徹底する。

## ねぎ（虫害説明）

### ヨトウムシ類(シロイチモジヨトウ・ハスモンヨトウ)

（生態）

- ① シロイチモジヨトウは、県北では1年中見られ、特に夏から秋にかけて多発する。県北以外では越冬できないものの、夏期を中心に発生する場合もある。ハスモンヨトウは、発育適温は25℃前後であり、特に7月から10月にかけて発生が多い。上記2種ともまとまった雨がでない乾燥した気候の際に多発する傾向にある。
- ② シロイチモジヨトウは、葉の内側から加害する。葉肉のみ加害し表皮は残るため、加害痕は白い膜状となる。ハスモンヨトウは若齢～中齢期は葉の表面を削るように加害する。シロイチモジヨトウとは異なり加害痕は白い膜状とはならない。老齢期になると葉全体を加害する。

（防除）

- ① 薬剤感受性の発達が著しいため、ローテーション防除をしっかりと行う。
- ② 中・老齢幼虫になるにしたがって薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫のうちに防除する。
- ③ 早期発見や発生状況の把握のため、フェロモントラップ調査結果を活用する。
- ④ 交信攪乱剤による密度抑制は有効であるが、まとまった面積への導入が必要である。
- ⑤ ジアミド剤に対し感受性低下事例があるため、効果が劣る場合は異なる作用機構分類の薬剤を使用する。

### ネギコガ

（生態）

- ① 発育適温は25℃前後で、春と秋に発生が多い。
- ② 幼虫は、葉身に潜って食害し、食害痕は小白点や蛇行した線状の白斑となる。
- ③ 成熟した幼虫は葉から脱出し、網目状の繭を形成し葉上で蛹になる。

（防除）

- ① 発生初期防除に努め、生息部位に薬剤が十分かかるように散布する。

## ねぎ（虫害説明）

### アザミウマ類

（生態）

- ① ネギアザミウマが主体である。
- ② 葉を加害し、白いかすれ状の食害痕が残る。  
生育初期に被害を受けると生育不良となり、枯死する場合もある。
- ③ 高温少雨の条件を好み、6月から8月に多発することが多い。
- ④ 冬でも休眠せず1年中被害が見られる。

（防除）

- ① 多発すると防除が困難になるため、発生初期防除に努める。
- ② 発育ステージによって有効薬剤が異なるので、薬剤の選択に注意する。
- ③ 収穫期に被害が多いと商品価値が下がるので、収穫前防除を徹底する。
- ④ 圃場内及び周辺の除草を徹底する。

### アブラムシ類

（生態）

- ① ネギアブラムシが主体である。本虫の体色は真黒色で光沢があり、角状管は淡黄褐色である。
- ② 吸汁害により草勢が弱まり、収量低下を引き起こす。多発すると枯死する場合もある。  
また堆積した排泄物から「すす病」が発生し、株全体が黒く汚れ、葉の呼吸や光合成作用に悪影響を及ぼす。
- ③ ネギ萎縮病(SYSV)のウイルス媒介虫である。
- ④ 4～5月から発生し、夏期には減少するが、10～11月には再び増加する。

（防除）

- ① 増殖が早いので、発生初期防除に努め、生息部位に薬剤が十分かかるように散布する。
- ② ウイルス病発生株は速やかに処分する。
- ③ 圃場内及び周辺の除草を徹底する。

# ねぎ（土壌消毒剤）

農薬名		商品名	一般名(成分名)	毒性	適用病害虫										備考 (散布量方法等)	
IRAC・FRAC コード					苗立枯病	苗立枯病R※1	萎凋病	根腐萎凋病	小菌核腐敗病	黒腐菌核病	白絹病	紅色根腐病	センチュウ類	ネギハモグリバエ		ケラ
①	②															
8F	8A	ディ・トラベックス油剤	①メチルイソチオシアネート ②D-D油剤	劇			●	●		●	●	●				
8B		クロールピクリン	クロールピクリンくん蒸剤 (99.5%)	劇	●		●			●	●		●	●	●	
8B		ドロクロール クロピク80 ドジョウピクリン	クロールピクリンくん蒸剤 (80%)	劇						●						
8F		キルパー	カーバムナトリウム塩液剤	普			●		●	●						
8F		ガスタード微粒剤 パスアミド微粒剤	ダゾメット粉粒剤	劇		●	●	●	●	●	●	●				センチュウ類：登録はネコブセンチュウ
8B	8A	ソイリーン	①クロールピクリン ②D-Dくん蒸剤	劇						●	●					センチュウ類：登録はネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ
8B	8A	ダブルストッパー	①クロールピクリン ②D-Dくん蒸剤	劇		●					●					センチュウ類：登録はネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ

※1 「苗立枯病R」はリゾクトニア属菌による苗立枯病

※2 土壌約15cmの深さに注入し被覆または覆土鎮圧

※3 被覆内で土壌表面に散布または灌水

※4 土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆

※5 深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する

# ねぎ（定植前/苗消毒剤）

FRACコード		農薬名	商品名	一般名(成分名)	毒性	適用病害虫			備考 (散布量方法等)
①	②					萎凋病	小菌核腐敗病	黒腐菌核病	
1			トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	普	●	●	●	注1
1			ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	普	●	●		注2
3			トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	普	●			
7			パレード20フロアブル	ピラジフルミド水和剤	普			●	

注1 本剤を使用した場合はベノミルを含む剤を使用しない。ただし、種子粉衣は除く。

注2 本剤を使用した場合はチオファネートメチルを含む剤を使用しない。ただし、種子粉衣は除く。

# ねぎ（播種～定植時/殺虫剤）

農薬名		毒性	適用病害虫							備考 (散布量方法等)	
IRACコード	商品名		一般名(成分名)	アザミウマ類	ネギアザミウマ	ハモグリバエ類	ネギハモグリバエ	ネダニ類	シロイチモジヨトウ		ネキリムシ類
①	②										
1B		トクチオン細粒剤F	プロチオホス粉粒剤					●	●	●	
3A		フォース粒剤	テフルトリン粒剤					●	●	●	
4A		アルバリン粒剤 スタークル粒剤	ジノテフラン粒剤	●		●					
4A		モスピラン粒剤	アセタミプリド粒剤		●		●				
4A		ベストガード粒剤	ニテンピラム粒剤		●		●			●	
4A		アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド水和剤	●			●			●	
4A		ダントツ粒剤	クロチアニジン粒剤		●		●				タネバエ登録有
4A	28	アベイル粒剤	①アセタミプリド ②シアントラニリプロール粒剤		●		●		●		
28		ペリマークSC	シアントラニリプロール水和剤	●		●			●	●	タマネギバエ、タネバエ、ネギコガ登録有
28		ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール水和剤	●		●			●		
28	4A	キックオフ顆粒水和剤	①クロラントラニリプロール ②ジノテフラン水和剤	●		●			●	●	
28	4A	ジュリボフロアブル	①クロラントラニリプロール ②チアメトキサム水和剤		●		●	●		●	タマネギバエ、タネバエ登録有
28	4A	ミネクトデュオ粒剤	①シアントラニリプロール ②チアメトキサム粒剤	●		●			●	●	植溝土壌混和・セル型育苗トレイ散布は タネバエ登録有、 セル型育苗トレイ散布はシロイチモジヨトウ登録有

# ねぎ（生育期/殺菌剤）

FRACコード		農薬名		毒性	適用病害虫										備考 (散布量方法等)
①	②	商品名	一般名(成分名)		軟腐病	疫病	べと病	さび病	黄斑病	黒斑病	ボトリチナス葉枯症	小菌核腐敗病	白絹病	黒腐菌核病	
P02		オリゼメート粒剤	プロベナゾール粒剤	普	●										
P07		アリエッティ水和剤	ホセチル水和剤	普		●	●								
M01		ヨネボン水和剤	ノニルフェノールスルホン酸銅水和剤	普	●		●	●		●					
M03		ジマンダイセン水和剤	マンゼブ水和剤	普			●	●		●					
M03		ペンコゼブ水和剤	マンゼブ水和剤	普			●	●		●					
M03		ペンコゼブフロアブル	マンゼブ水和剤	普			●	●		●					
M03	4	リドミルゴールドMZ	①マンゼブ ②メタラキシルM水和剤	普			●								
M05		ダコニール1000	TPN水和剤	普			●	●		●					●
1		トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	普							●		●		注1 散布での小菌核病、萎凋病登録有
2		ロブラール水和剤	イプロジオン水和剤	普						●	●				株元灌注
2		スミレックス水和剤	プロシミドン水和剤	普							●		●		
3		モンガリット粒剤	シメコナゾール粒剤	普	●						●	●	●		小菌核病登録有
3		ラリー乳剤	ミクロブタニル乳剤	普				●							
3		オンリーワンフロアブル	テブコナゾール水和剤	普				●		●					無人航空機散布登録有
3	M03	テーク水和剤	①シメコナゾール ②マンゼブ水和剤	普			●	●		●					●
3		サプロール乳剤 セーフガード乳剤	トリホリン乳剤	普				●							
7		モンカット粒剤	フルトラニル粒剤	普								●			
7		モンカットファイン粉剤20DL	フルトラニル粉剤	普								●			
7		モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	普								●			
7		アフェットフロアブル	ペンチオピラド水和剤	普				●		●	●	●	●	●	小菌核病登録有
7		パレード20フロアブル	ピラジフルミド水和剤	普				●		●	●	●	●	●	小菌核病登録有
7		カナメフロアブル	インピルフルキサム水和剤	劇				●		●		●	●	●	
7		ケンジャフロアブル	イソフェタミド水和剤	普									●		
11		アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン水和剤	普 普			●	●	●	●					● リゾクトニア葉鞘腐敗病登録有 ● 無人航空機による散布

注1 本剤を使用した場合はベノミルを含む剤を使用しない。ただし、種子粉衣は除く。

# ねぎ（生育期/殺菌剤）

FRACコード		商品名	一般名(成分名)	毒性	適用病害虫										備考 (散布量方法等)	
①	②				軟腐病	疫病	べと病	さび病	黄斑病	黒斑病	ボトリチス葉枯症	小菌核腐敗病	白絹病	黒腐菌核病	葉枯病	
11		ストロビーフロアブル	クレソキシムメチル水和剤	普				●	●	●						
11		メジャーフロアブル	ピコキシストロビン水和剤	普			●	●		●		●	●	●	●	小菌核病登録有
11	M05	アミスターオプティフロアブル	①アゾキシストロビン ②TPN水和剤	普			●	●	●	●		●			●	
11	4	ユニフォーム粒剤	①アゾキシストロビン ②メタラキシルM粒剤	普			●	●					●	●		
11		ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ水和剤	普				●		●		●	●	●	●	小菌核病登録有
12		セイビアーフロアブル20	フルジオキサニル水和剤	普								●	●	●		
14		リゾレックス粉剤	トルクロホスメチル粉剤	普									●			リゾクトニア葉鞘腐敗病登録有
14		リゾレックス水和剤	トルクロホスメチル水和剤	普									●			
19		ポリオキシシンAL水和剤	ポリオキシシン水和剤	普						●						
19		ジオゼット水和剤	ポリオキシシン水和剤	普				●		●			●		●	
21		ランマンフロアブル	シアゾファミド水和剤	普			●									
21	M05	ドーシャスフロアブル	①シアゾファミド ②TPN水和剤	普			●			●						
21	27	ダイナモ顆粒水和剤	①アミスルフロム ②シモキサニル水和剤	普			●									
24	M01	カスミンボルドー	①カスガマイシン ②銅水和剤	普	●											
27	40	ベトファイター顆粒水和剤	①シモキサニル ②ベンチアバリカルバイソプロピル水和剤	普			●									
29		フロンサイド粉剤	フルアジナム粉剤	普								●	●			
31		スターナ水和剤	オキシリニック酸水和剤	普	●											
39		ハチハチ乳剤	トルフェンピラド乳剤	劇			●	●								
40		レーバスフロアブル	マンジプロパミド水和剤	普			●									
40	M03	カンパネラ水和剤 ベネセット水和剤	①ベンチアバリカルバイソプロピル ②マンゼブ水和剤	普			●			●						
40	M05	プロポーズ顆粒水和剤 ワイドヒッター顆粒水和剤	①ベンチアバリカルバイソプロピル ②TPN水和剤	普 普			●								●	無人航空機による散布
45	40	ザンプロDMフロアブル	①アメトクトラジン ②ジメトモルフ水和剤	普			●									無人航空機散布登録有
49	40	オロンディスウルトラSC	①オキサチアピプロリン ②マンジプロパミド水和剤	普			●									無人航空機散布登録有
U18		バリダシン液剤5	バリダマイシン液剤	普	●								●			

注1 本剤を使用した場合はベノミルを含む剤を使用しない。ただし、種子粉衣は除く。

ねぎ（生育期/殺虫剤）

農薬名		商品名	一般名(成分名)	毒性	適用病害虫								備考 (散布量方法等)
IRACコード					アザミウマ類	ネギアザミウマ	アブラムシ類	ネギハモグリバエ	タマネギバエ	シロイチモジヨトウ	ヨトウムシ	ネギコガ	
①	②												
1B		スミチオン乳剤	MEP乳剤	普	●	●				●			
1B		エルサン乳剤	PAP乳剤	劇	●	●							
1B		ダイアジノン乳剤40	ダイアジノン乳剤	劇	●	●	●	●		●			
1B		トクテオン乳剤	プロチオホス乳剤	普	●	●	●	●		●		●	無人航空機散布登録有 株元灌注 クロバネキノコバエ類登録有
3A		アグロスリン乳剤	シペルメトリン乳剤	劇	●	●	●	●		●			
3A		アディオソリン乳剤	ペルメトリン乳剤	普	●			●		●	●		
3A		ガードベイトA	ペルメトリン粒剤	普							●		
3A		トレボン乳剤	エトフェンプロックス乳剤	普				●					
4A		ダントツ粒剤	クロチアニジン粒剤	普	●	●						●	
4A		ダントツ水溶剤	クロチアニジン水溶剤	普	●	●							
4A		ベストガード粒剤	ニテンピラム粒剤	普	●	●							
4A		モスピラン水溶剤	アセタミプリド水溶剤	劇	●								
4A		モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	劇	●								
4A		アルバリン粒剤 スタークル粒剤	ジノテフラン粒剤	普	●	●							ハモグリバエ類で登録 クロバネキノコバエ類登録有
4A		アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	普	●	●							ハモグリバエ類で登録 トビイロヒョウタンゾウムシ、 クロバネキノコバエ類登録有
5		スピノエース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	普	●			●					
5		ディアナSC ラディアントSC	スピネトラム水和剤	普 普	● ●		●	●		●			無人航空機による散布
6		アニキ乳剤	レピメクチン乳剤	普	●	●	●	●		●			ハモグリバエ類で登録
6		アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	普 普	● ●	●	●	●					ハモグリバエ類で登録 無人航空機による散布
6		アグリメック	アバメクチン乳剤	劇	●	●							
9B		コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン水和剤	普		●	●	●					無人航空機散布登録有
13		コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	劇			●	●		●			ヒョウタンゾウムシ類登録有
14		リーフガード顆粒水和剤	チオシクラム水和剤	劇	●	●				●			

ねぎ（生育期/殺虫剤）

農薬名		商品名	一般名(成分名)	毒性	適用病害虫							備考 (散布量方法等)	
①	②				アザミウマ類	ネギアザミウマ	アブラムシ類	ネギハモグリバエ	タマネギバエ	シロイチモジヨトウ	ヨトウムシ		ネギコガ
15		アタブロン乳剤	クロルフルアズロン乳剤	普	●			●					
15		ノーモルト乳剤	テフルベンズロン乳剤	普				●					
15		カスケード乳剤	フルフェノクスロン乳剤	普	●	●	●						シロイチモジヨトウ感受性低下事例有 クロバネキノコバエ類登録有
				普	●	●	●						無人航空機による散布
15		マッチ乳剤	ルフェヌロン乳剤	普	●			●					
16		アブロードフロアブル	ブプロフェジン水和剤	普								●	
18		マトリックフロアブル	クロマフェノジド水和剤	普				●					
18		ファルコンフロアブル	メトキシフェノジド水和剤	普				●					
18		ロムダンフロアブル	テブフェノジド水和剤	普				●					
21A		ハチハチ乳剤	トルフェンピラド乳剤	劇	●	●	●	●	●				シロイチモジヨトウ感受性低下事例有 クロバネキノコバエ類登録有
21A	22B	アクセルキングフロアブル	①トルフェンピラド水和剤 ②メタフルミゾン水和剤	劇	●			●	●				
22A		トルネードエースDF	インドキサカルブ水和剤	普				●					無人航空機登録有
28		フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	普				●	●				シロイチモジヨトウ感受性低下事例有 無人航空機散布登録有
28		ブレバソンフロアブル5	クロラントラニプロール水和剤	普			●	●	●				シロイチモジヨトウ感受性低下事例有、 ハモグリバエ類で登録、 無人航空機散布登録有
28		ベネビアOD	シアントラニプロール水和剤	普	●		●	●	●				ハモグリバエ類で登録 無人航空機散布登録有
28		ベリマークSC	シアントラニプロール水和剤	普	●		●	●		●			ハモグリバエ類で登録
28		ブリロッソ粒剤オメガ	シアントラニプロール粒剤	普	●		●	●	●				ハモグリバエ類で登録
28		ヨーバルフロアブル	テトラニプロール水和剤	普	●		●	●	●				ハモグリバエ類で登録 クロバネキノコバエ類登録有
				普	●		●	●	●				ハモグリバエ類で登録 無人航空機による散布
30		グレーシア乳剤	フルキサメタミド乳剤	普	●		●	●	●		●		ハモグリバエ類で登録 クロバネキノコバエ類登録有
30		プロフレアSC	プロフラニド水和剤	普			●	●	●				
34		ファインセーブフロアブル	フロメトキン水和剤	劇	●		●						
UN		ブレオフロアブル	ピリダリル水和剤	普	●			●					